



一般社団法人 北関東婦人科がん臨床試験コンソーシアム

第21回GOTIC教育セミナーのご案内

GOTIC 正会員・賛助会員の皆様

平素より GOTIC 臨床研究に多大のご協力をいただき、ありがとうございます。
さてこのたび、第21回 GOTIC 教育セミナーを下記の要領で開催いたします。
今回は、関東連合産科婦人科学会総会・学術集会の開催期間中に幅広い層の先生方に参加していただけるよう企画いたしました。

まず、GOTIC-007として行われた研究成果を自治医大の藤原寛行先生に発表していただきます。続いて、臨床研究統計の基礎について、株式会社H-STATの濱野鉄太郎先生にご講演いただきます。また、埼玉医大国際医療センター 放射線腫瘍科の加藤真吾先生に婦人科がん放射線治療に関する最新情報をお話しいたします。

お誘い合わせのうえふるってご参加ください。

GOTIC 理事長 鈴木光明
GOTIC 運営委員会 委員長 藤原恵一

記

開催日時：平成27年10月24日(土) 18時~20時

※ お弁当を準備します

場 所：幕張メッセ国際会議場 304

千葉県美浜区中瀬 2-1

TEL: (代表) 043-296-0001

参加費：無 料

(賛助会員には、1社あたり2名までの参加でお願いいたします)

参加を希望される方は、別紙参加申込書を 10/13までに GOTIC 事務局 FAX (049-292-9048) かメール添付 (gotic@gotic.jp) で送信してください。

プログラム

• 開会の辞

• 講演 I

「GOTIC-007 研究 結果・報告」

自治医科大学附属病院 産婦人科
教授 藤原 寛行 先生

• 講演 II

「臨床データに対する統計解析手法の選び方入門」

株式会社 H-STAT
代表取締役 濱野 鉄太郎 先生

• 講演 III

「婦人科腫瘍に対する小線源治療の新たな展開」

New development of brachytherapy for gynecologic tumors

埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科
教授 加藤 眞吾 先生

• 閉会の辞

第21回GOTIC教育セミナー 抄録

< 講演 II >

「臨床データに対する統計解析手法の選び方入門」

株式会社 H-STAT

代表取締役 濱野鉄太郎先生

臨床データに対して適切な統計手法を選択することは、データから正しい知見を得るために重要です。近年、データ解析は解析用ソフトウェアで簡単に実施できることから、統計手法を正しく選択することの重要性は以前よりも高まっています。今回の講演では、どのタイプの臨床データに対してどの統計解析手法を用いれば良いのかを概説するとともに、主要評価項目を決めること、統計的仮説を持つこと、統計解析手法の利点・欠点を正しく理解することに重点を置いて、入門的な説明を行います。

< 講演 III >

「婦人科腫瘍に対する小線源治療の新たな展開」

New development of brachytherapy for gynecologic tumors

埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科

教授 加藤真吾先生

婦人科腫瘍、特に子宮頸癌に対する腔内および組織内照射は、原発巣の制御において重要な役割を担っている。これまで子宮頸癌の腔内照射では、アプリケータ挿入後に正側2方向のX線写真を撮影し、その写真をもとに2次元の治療計画を立てていた。線量の評価はInternational Commission on Radiation Units and Measurements (ICRU) レポート38にしたがって、正側X線画像上で腫瘍に対する線量の基準点としてA点を、また膀胱および直腸線量の基準点をそれぞれ定義し、腫瘍および正常組織への投与線量の指標としてきた。線源配置はマンチェスター法などに準じて、いわゆる“洋なし型”の線量分布を定型として治療が行われていた。しかしこのような線量分布と実際の腫瘍の形状とは一致せず、A点線量およびICRUの膀胱・直腸線量は必ずしも腫瘍や正常組織の線量の指標とはならない。このため従来の2次元の治療計画では最適な治療を行うことができなかった。

この問題を解決するために、小線源治療時にアプリケータを挿入した状態でMRI

やCTなどの3次元画像を撮像し、それらの画像を治療計画に利用する3次元画像誘導小線源治療(3D Image-Guided Brachytherapy: 3D IGBT)が開発された。本治療では3次元画像をガイドにアプリケータを挿入するため、適切な位置にアプリケータを配置することができ、さらに組織内照射のような複雑なアプリケータ挿入も比較的容易に行える。3D IGBTの治療計画では、アプリケータと腫瘍および正常組織との空間的な位置関係を3次元画像で正確に把握することができ、3次元画像に投影された線量分布によって腫瘍および正常組織の線量を正確に評価することができる。またDose-Volume Histogram (DVH) 解析を用いて腫瘍および正常組織の容積線量評価を行うことができる。さらに照射条件を微調整することで、腫瘍の形状や正常組織の位置に合わせた線量分布の最適化を図ることが可能となる。このような利点から3D IGBTは究極のconformal radiotherapyと考えられ、子宮頸癌の治療において腫瘍制御率の向上と正常組織障害の低減が報告されている。さらに3D IGBTは、進行・再発子宮頸癌に対する組織内照射や子宮体癌の治療にも応用されてきている。このように婦人科腫瘍に対する3D IGBTは急速に世界各国に広まっており、今後の婦人科腫瘍の小線源治療において標準治療となると考えられる。

返信先 GOTIC 事務局 FAX : 049-292-9048

E-mail : gotic@gotic.jp

一般社団法人 北関東婦人科がん臨床試験コンソーシアム

第21回GOTIC教育セミナー参加申込書

平成27年10月24日(土) 18:00~

於) 幕張メッセ国際会議場

参加を希望される方は、10月13日(火)までに GOTIC 事務局へ FAX (049-292-9048) かメール添付 (gotic@gotic.jp) にてご返信くださいますようお願いいたします。

施設名	氏名	e-mail

[問い合わせ先]

GOTIC 事務局

〒350-0451 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷5 グランビルⅡ401

TEL : 049-292-9043

FAX : 049-292-9048

E-mail : gotic@gotic.jp